

注意

前年度の入試情報となります。
新しい情報は随時公開いたします。

You, Unlimited

龍谷大学

国際学部



RYUKOKU
UNIVERSITY

2024

Faculty of

International
Studies



Globalization and Internationalization

「グローバル化」と「国際化」

よく聞く「グローバル化」や「国際化」という言葉。同じような言葉に聞こえますが、実はそれぞれ意味することが異なります。ごく簡単に表現するならば、「グローバル化」は、あらゆる事柄が地域や国境を超えて関係することを意味します。それに対して「国際化」は、国境の存在を前提に言語・宗教・文化などの差異を乗り越え、異なる国家間の関係が緊密になることを意味します。龍谷大学国際学部では、このような「グローバル化」「国際化」の違いを理解し、世界を舞台に活躍できるリーダーや世界と日本をつなぐファシリテーター（促進者）を育成します。

tion

WE DON'T



グローバル
スタディーズ学科

世界を舞台に活躍する
リーダーを育成する

相互に
一部の科目の
受講が可能

国際文化学科

世界と日本をつなぐ
人材を育成する

HAVE TIME!

Realizing the Importance of Know

多様な価値観をもつ人々と交流し、 自分を知ることの大切さに気づいた

ボーダレスな時代においては「グローバル」な感覚が大切といわれます。

それは、単に外国語が話せる、留学経験があるといった表層的な部分ではなく、世界の人たちの自分とは異なるいろいろな考え方を認めながら、自分の考え方を大切にできる姿勢なのではないでしょうか。

グローバルな体験は、自分の知らない世界を知るだけでなく、

他者への理解をとおしてこれまで気づけなかった自分について知る機会でもあります。

現地の大学で、学部生として より実践的な学びを経験

島国で礼儀正しい国民性など、日本と似ているところがあり、イギリス英語が好きだったこともあって、交換留学生としてロンドンへ行きました。現地では、大学で観光学を学び、さまざまなイベントに参加する機会もありました。大学の授業は実践的な内容のものが多く、現地の人へのインタビューなどとおして、英語によるコミュニケーション能力が上がったと感じています。



通常の旅行ではなかなか見ることのないロンドンの人たちの日常的な場面を目にすることも多く、さまざまな国の人と出会い、自分とは異なる立ち位置から見た日本についての話を聞き、これまでとは違う視点で自国をとらえる目を養えたと感じています。日本のことをよく知っている人が多かったのも、新鮮な発見でした。

お互いの個性を認め、 尊重し合える環境で過ごした

ロンドンには多彩なバックグラウンドをもつ人たちが生活しています。多様性にあふれた環境で日々の生活を送ることで、いろいろな物事についてこれまでとは違った角度からの見方があると気づきました。身近な例でいえば、日本の商業施設では丁寧な接客が当たり前ですが、現地では業務マニュアルに束縛され過ぎない店舗スタッフと顧客との対等な関係が新鮮でした。また、移民が多く、多国籍、多文化環境のなか、

周りの人たちが“日本から来た留学生”という枠組みではなく、一人の学生として、そして何より一人の人間として、私に接してくれたのが印象的でした。

自分の考えに従って、 行動できる姿勢を身につけた

現地では、学生の学びに対する真剣な姿勢や、日本とは異なる仕事に対する考え方に触れました。日本では学校を卒業後は就職するのが当たり前です。しかし、進路にはさまざまな選択肢があり、どれを選ぶかは人それぞれと考える多くの人たちと出会いました。留学前から世界には多様な考え方があると知っていましたが、周囲の人と比べたり、焦ったりすることなく、自分の考えを優先して生きる人を目の当たりにして、驚くとともに「いいな」と感じました。また大学でも、自らの考えや意見を主張するスキルを養う実践的な時間が多くありました。以前の私は、周囲の意見や周りから

owing Yourself

どう見られるかを意識する傾向が強かったのですが、留学を経験して自分自身の意見や考え方を大事にしたいと考える機会が増えたと思います。

留学経験が、今そして未来の自分につながる

私がイギリスで経験したこと、感じたこと、そして発見できたことの多くは、日本にいたら出会いませんでした。国内だけで過ごしていたのなら、きっと気づけなかったこともたくさんあると思います。そうした日々のなかで、これまで自分で「当たり前」

と思い込んでいた部分が変化して、物事をより柔軟に捉えられるようになったと感じています。現在は、留学をとおして得られた英語力を活かし、オンラインの日本語教師をしています。日本語を母語とする私たちが、疑問に感じたことのない言葉の使い方などについて質問されることもあり、改めて日本語の意味に気づく場面も少なくありません。今後は未定ですが、以前の私なら周りを気にしてできなかったことも行動に移せると思います。そして、そのときには英語力や多様性を受け入れる姿勢がきっと活きると感じています。



Saya Fukui

福井 紗耶さん

国際文化学科 2022年9月卒業
(京都府立乙訓高等学校 出身)

国際文化学科の リサーチセミナー

国際文化学科では、学際的な学びを支援するために「リサーチセミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を導入しています。学生は1年次前期に、大学の学びを身につけ、1年次後期には、自らの興味や関心にもとづき、専任教員が提供する言語や歴史、宗教、社会体制など「国際」や「文化」に関する学術的なリサーチ方法を学びます。2年次の「リサーチセミナーⅢ」では、さらに多様なテーマや地域を対象に、専門的な学びを提供しています。例えば、京都でのフィールドワークや海外での語学や文化研修、アートやメディアコンテンツの作成などです。また、「リサーチセミナーⅢ」の代わりに自らが海外留学や海外インターンを予定している場合は、「海外研修(異文化交流)」も選択することが可能です。これらを通じて、「多様な他者をつなぐ人材」に求められる素養を身につけていきます。

グローバルスタディーズ学科

Overseas Programs to Expand Your Horizons

3つの海外プログラムを経験して、
視野が大きく広がった

技術の発展により、世界中の人たちと距離を超えた国際交流が可能になりました。

時には、訪れたことがない国のリアルな「今」について、さまざまな話を聞けることもあります。

そのなかには、これまでの知識や経験が役に立たず、理解が難しい話もあります。

しかし、だからこそ、見識が深まり、視野が広がる経験になるのです。

オンライン留学など、 多彩な海外プログラムを体験

海外での勉強や就職という目標があり、実社会に出る前に夢を叶えるための第一歩として、さまざまな海外プログラムに参加しました。留学については、新型コロナウイルスの影響で海外渡航ができず、カリフォルニア大学バークレー校へのオンライン留学を選びました。その後は、海外渡航ができなかった学生のために用意されたグローバルスタディーズ学科のフォローアッププログラムで、米国ボストンでのハーバード大学とマサチューセッツ工科大学のPBL(問題解決型)研修プログラムにも参加しました。さらに、4年次には「インターンシップ・アブロード」の授業で、夏季休暇を利用してニュージーランドに行き、公立高校で日本語クラスのティーチング・アシスタントを経験しました。

茶道について発表を行い、 実りある国際交流を実感

オンライン留学には、さまざまな国から多種多様なバックグラウンドを持った学生が参加しており、インドのカースト制などそれぞれの国が抱える社会課題について話を聞くことができました。このオンライン留学では、「ライティング」「ジェンダー論」「日本文化・文学」の3つの講義を受講しました。

日本文化・文学の授業では、『源氏物語』を面白いといってくれる学生もいて話が盛り上がり、動画やテキスト情報を使って茶道について紹介する機会もありました。発表に備えて一生懸命に準備する必要があり、主体性を持って授業に参加したことで、オンライン上にもかかわらず有意義な国際交流ができたと感じています。

楽しそうに仕事をしている 人たちに会えた

ボストン研修では、学生や製薬会社の社員などさまざまなポジションの人にインタビューを行い、現地でのプレゼンテーションも経験しました。ちょうどコロナ禍の真っ只中で、生命を守るという使命感を持って製薬会社でワクチン開発に取り組んでいる方々の話を聞き、将来は社会に貢献できる人になりたいという意識を新たにしました。現地の人々が楽しそうに仕事をしているのが印象的で、仕事とプライベートをきっちり分けたワークライフバランスの良い働き方にも共感できました。一方、4年次の「インターンシップ・アブロード」では、日本語クラスのティーチング・アシスタントを担当するだけでなく、職員会議や先住民の学生を指導するための講習会にも参加しました。日本の文化について伝える授業も行い、実際に海外で働くイメージがつかむことができたと思います。

キャリアに対する考え方が 大きく変化

3つの海外プログラムを経験して、大学卒業後のキャリアに対する考え方が変化しました。日本では学校を卒業すると就職するのが一般的です。しかし海外では、自分の興味のあること、やりたいことを経験してから、仕事に就く人が少なくありません。ボストンで出会ったハーバード大学とハーバードビジネススクールを卒業後に起業したマレーシアの方も、「当初は卒業後の就職を目指していたけれど、自分のやりたいことが見つかるまで焦る必要はないと思うようになった」と話してくれました。現在は、費用を貯めながら、再びニュージーランドへの渡航を考えています。のどかな環境の中で、人々がアクティブかつ楽しそうに暮らしているところに惹かれたのです。ワーキングホリデーを利用して現地へ行き、就労ビザの獲得または現地の学校の卒業を目指そうと考えています。龍谷大学は海外に行ける機会が多い大学です。グループ研修などを利用して、より多くの人に海外の考え方に触れてほしいと思います。



Chinatsu Kobori

小堀 千夏さん

グローバルスタディーズ学科 4年生
(大阪府 大阪夕陽丘学園高等学校 出身)

グローバル スタディーズ学科 の留学プログラム

グローバルスタディーズ学科は、1セメスター以上の留学[※]を必修にしており、提携留学は、現地の一般学生と机を並べる「正規専門科目留学」をめざします。滞在先はホームステイやキャンパス内の学生寮を予定しており、大学生同士の交流も自然に行われる環境です。提携留学先は、学科の専任教員が個別に交渉し選定しているため、留学中の教育内容などもしっかりと把握、多様性にあふれた大学から選択可能です。また、選択科目として「インターンシップ・アブロード I・II」という科目を設置しており、留学後に海外でインターンシップに挑戦することも可能です。

[※]留学先により異なりますが、現地での授業は15週間程度となります。



交換留学

世界中から集まった留学生と触れ合い、自分らしくあることの大切さを学んだ

西ヨーロッパ最大の規模を誇るイタリアのローマ・ラ・サピエンツァ大学には、異なるバックボーンをもつ留学生が世界中から集まっています。

例えば、勤勉を美德とする日本人の考え方は、どのような違いがあるのでしょうか？

現地学生や留学生との交流を通じて、それぞれの国の文化や生活様式、人生観が見えてきました。

世界有数の規模を誇る大学で イタリアの真髄に触れる

私は交換留学制度を利用して、西ヨーロッパ最大規模の公立大学、ローマ・ラ・サピエンツァ大学に留学しました。同校はイタリア語と英語で授業が展開されていて、豊富な学部・学科から自分の関心ある授業をオーガナイズできるのが魅力です。さらに交換留学生には履修制限がなく、多岐にわたる分野を学べます。私が特に興味を抱いたのは、イタリアの歴史でした。イタリアは長らくヨーロッパの中心で活躍してきた国であり、文学や建築にも大きな影響を与えています。現代まで歴史をたどっていくと、「働かないイタリア人」といわれる理由も見えてきました。

働かないように見える背景には 深刻な社会問題があった

イタリア人に対して「働かない」というイメージをもっていませんか。確かに大型店舗を除く小売店は週末の営業はせず、飲食店も昼休みを設けています。行政のシステムも緩慢で、怠けていると感じるかもしれません。

しかしその裏側には、長年の就職難や低学歴問題といった社会的背景がありました。正規雇用で働く人が少なく、賃金もかなり低いのです。そんな厳しい状況にあっても、夕方になればカフェテラスでお酒を飲み、明るく笑いながらおしゃべりに興じる。自由な暮らしだからといって「働かない」と決めつけるのは一方的にも思えます。家族や友人との時間を大切に、人生を楽しむイタリア人は、勤勉が当たり前の日本人も見習う価値があるのではないのでしょうか。

世界的なスケールで見れば 取るに足りないことばかり

今回の留学で得たのは学びだけではありません。歴史も文化も生活様式も何もかも異なるイタリアで生活してみて、他者との違いを理解し受け入れる余裕が生まれました。日本で暮らしていると個性を求められる一方で、人にあわせなければいけない窮屈さもあります。世界スケールで見ると、周囲との違いなんてどんなに小さな悩みでしょうか。留学をとおしてグローバルな視野をもつ人と出会い未知の世界に触れ、私の人生観は大きく変わ

りました。自分らしくあることを大切にしながら、他者との違いを楽しんでいきたいです。



Mayu Asahi

旭 茉優さん

国際文化学科 2022年9月卒業
(京都府 京都学園高等学校* 出身)
※現・京都先端科学大学附属高等学校

世界有数の名門校に長期留学 現地の学生と一緒に学ぶ

グローバルスタディーズ学科は、1セメスター以上の英語圏への留学が必修です。私は約3ヶ月間、カリフォルニア大学バークレー校に留学しました。留学先では現地の学生と一緒に授業を受けられるため、私は心理学やデータサイエンス、教育学、第二言語習得論などの講義を履修しました。アメリカ随一の蔵書数を誇る図書館もそなえる充実した学修環境で、世界中から集まる学生と交流しながら、幅広い分野の知識を身につけられました。

英語「で」学ぶことで培われる 国際的なコミュニケーション力

本学科の提携留学では、英語について学べるだけでなく、英語を使って科目を学ぶことができます。現地の一般学生と同じ授業を履修できる「正規専門科目受講」が、一番の特徴です。授業中はクラスメイトと協力しながら学修するため、必然的に英語でやり取りをすることになります。自分が詳

しくない分野の授業の場合は、より積極的にコミュニケーションを図る必要があります。そのように英語を用いて多様な価値観の人と対話し、一緒に学ぶことで、国際的なコミュニケーション能力や協調性が養われるとともに、物事への視野も広がりました。

留学で紡いだ人とのつながりは 自分にとって人生の宝もの

新型コロナウイルスの感染拡大により、国境を越えて人々と触れ合うことが困難になりました。だからこそ、今回の留学をとおして人とのつながりの大切さに改めて気づかされました。世界各国の人とコミュニケーションを取れる英語は、とても便利なツールです。その英語を使っていろいろなルーツをもつ人と交流し、学び合える本学科の留学プログラムは、またとない学びの機会に違いありません。留学中にできた友人は、私にとってかけがえのない存在です。これからも留学経験から得られた学びを活かしながら、人との出会いを大事にし、人生をより豊かにしていきたいです。



Go Matsuda

松田 剛さん

グローバルスタディーズ学科 4年生
(大阪府 東海大学付属大阪仰星高等学校 出身)

留学プログラム

現地の学生とともに専門科目を受講し、 英語での高いコミュニケーションを実践

世界中の優秀な学生が集まる、アメリカカリフォルニア大学バークレー校。

グローバルスタディーズ学科からの留学生も、現地の一般学生とともに英語で正規専門科目を学び、積極性や国際的なコミュニケーション力を育みます。

Hot Topics

国際学部の取り組み

1

GS IC

留学しやすい学修環境

グローバルスタディーズ学科

「英語を学ぶ」から、「英語で学ぶ」へ 正規専門科目受講をめざす提携留学

グローバルスタディーズ学科は、1セメスター以上の留学[※]を必修にしています。本学科の提携留学は、海外大学の附属機関で英語を学ぶ「語学留学」のほかに、現地の一般学生と同じ授業を履修する「正規専門科目受講」をめざします。滞在先もホームステイやキャンパス内の学生寮を予定していますので、大学生同士の交流も自然に行われます。

※ 留学先により異なりますが、現地での授業は15週間程度となります。

国際文化学科

国際文化学科では留学を必修としていませんが、強く推奨しており、留学先の学修成果を国際文化学科の単位として認定することで、4年間で卒業が可能な留学制度を整備しています。また、1セメスター以上の長期留学(私費・交換)では龍谷大学の授業料を免除[※]するなど、経済的なサポートも充実させています。

※ ただし、留学在籍料(半年あたり15万円程度)と諸経費の納入が必要です。

【提携留学先一覧】



【アイルランド】
ユニバーシティ・カレッジ・コーク



【アメリカ】
カリフォルニア大学 パークレー校



【アメリカ】
南カリフォルニア大学



【カナダ】
アルバータ大学



【カナダ】
ランガラカレッジ



【カナダ】
レイクヘッド大学



【オーストラリア】
タスマニア大学



【オーストラリア】
ディーキン大学



【ニュージーランド】
ワイカト大学

2

GS

国際関係を学ぶならグローバルスタディーズ学科！

各学問分野における論文の被引用数から算出される「Top 10% 補正論文」。論文そのものの注目度や影響力を表すこの指標において、Top 10% 論文を何本もっているかは、すなわち優秀な研究者を表す指標としても着目されます。日本国際政治学会に加盟する研究者(会員)は約1,500名。その中でTop 10% 論文を2本以上もっている研究者はわずか29名しかいないことから、Top 10% 論文をもっていることがいかに困難であり、優れたことであるかがわかります。グローバルスタディーズ学科には、国際関係の分野においてそんな Top 10% 論文を2本もっている研究者がなんと2人もいます。関西でそんな大学は龍谷大学だけ！みなさんも世界トップクラスの研究者と一緒に、グローバルスタディーズ学科で国際関係学を学びませんか！

※数値は2023年1月時点



清水 耕介教授



陳 慶昌教授

3 IC 2年次以降のカリキュラムを自身でコーディネート

2023年度国際文化学科入学生よりコース制を廃止し、2年次以降は、卒業要件単位である50単位分の科目を自身でコーディネートできるようになりました。共通外国語としては、英語・中国語・フランス語・韓国語以外にもスペイン語・ドイツ語・ロシア語・ポルトガル語・ペルシア語・アラビア語・トルコ語の11ヶ国語と、幅広い言語を修得することができます。また、「比較宗教」「地域研究」「人間と共生」「メディアと社会」「芸術・表現」の5科目群では、より専門的に「世界を学び、私を知る」ことができる多種多様な科目が開講されています。その他にもキャリア関連科目や国際観光プログラム（旅行・観光関連科目）といった科目を自身の将来を見据えて履修することが可能です。座学以外にもリサーチセミナーⅢ（実践系科目）では、多様なテーマや地域を対象にフィールドワークや海外での語学・文化研修、アートやメディアコンテンツ制作など「多様な他者をつなぐ人材」に求められる素養を身につけることができます。「リサーチセミナーⅢ」の代わりに自らが海外留学や海外インターンを予定している場合は、「海外研修（異文化交流）」を選択し、自身が設定したテーマに沿って履修します。上記科目をどのように組み合わせるかは、個人の選択に任せられていますので興味・関心や将来を見据えてコーディネートすることができます。

※50単位中10単位は、3年次以降に演習または国際文化Study ProjectA～Dを履修する必要があります。



4 IC 令和4年度総合旅行業務取扱管理者試験に国際文化学科生5名が合格

旅行会社で旅行商品を販売するために必要な国家資格である旅行業務取扱管理者の資格試験のうち、最難関の「総合」に国際文化学科生が5名合格しました。（「総合」の他に「国内」と「地域限定」があります）。本試験は、全国での合格率が13.5%（合格者278名／受験者2,064名）という非常に難しい国家試験であり、中でも全国で合格した大学生がわずか38名しかいないという中での快挙です。国際文化学科では、国際観光プログラム（ITP）を設置し、旅行・観光業界をめざす学生の資格試験合格もバックアップしています。



4-Year Studies



4年間で何を学ぶ？

世界を舞台に活躍するための
幅広い教養とコミュニケーション能力を修得する

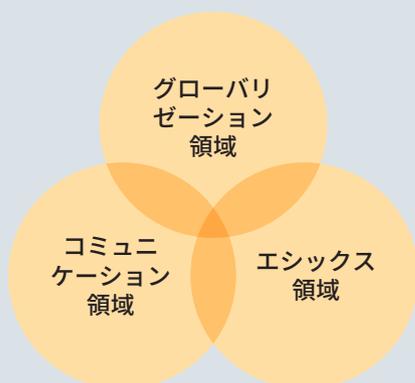
高い語学運用能力をベースに留学などで国際感覚を磨く

グローバルスタディーズ学科では、専攻科目の約90%が英語または英語+日本語で開講され、高度なコミュニケーション能力を養います。
国際文化学科では、英語を中心とした11ヶ国語の幅広い外国語教育をとおして、国境や文化の違いを超えて考える力を養います。

グローバル スタディーズ学科

世界を舞台に活躍するリーダーを育成

グローバルスタディーズ学科では、1セメスター以上の留学※が必修、TOEIC®L&R730点などを卒業要件としています。世界情勢を複眼的に学ぶ専門科目教育をとおして、グローバルな視点からの知識と思考力、文化や習慣の異なる人々と協働するためのコミュニケーション能力、世界でも通用する倫理観を身につけます。



※ 留学先により異なりますが、現地での授業は15週間程度となります。



国際文化学科

多様な他者をつなぐ人材を育成

『世界を学び、私を知る』をキーワードに、世界の多様な言語と文化を学び、〈私〉を取りまく文化の理解を深め、世界に向けて日本文化を発信できる人材、異なる文化間に生じる問題を調整することのできる人材、そして国際社会における多様性の尊重に貢献できる人材を育成します。そのため、学生自身の関心にもとづき、以下の5科目群等から専攻科目50単位を卒業要件として履修します。



	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
グローバルスタディーズ学科	外国語・学科科目の基礎をしっかりと身につける		専門的な学びに踏み込み、1セメスター以上の留学へ*		1～2年生で培った英語力を活かす専門講義科目がスタート		4年間の学びの集大成 英語による卒業論文作成へ	
	学科外国語科目		留学プログラム					
	学科基礎科目		学科専攻科目					
			グローバル化領域 グローバルな視点からの知識と思考力		グローバル化領域 + コミュニケーション領域		グローバル化領域 + コミュニケーション領域 + エシックス領域	
			コミュニケーション領域 他国の人たちと論議できる英語力		コミュニケーション領域 + エシックス領域			
			エシックス領域 世界で通用するゆるぎない倫理観		グローバル化領域 + エシックス領域			
グローバルキャリア入門		卒業時の英語力を保証 グローバルスタディーズ学科では、右のいずれか以上の点数を取得することが卒業要件の1つ。これらのスコアは、企業が英語力のある人材と認めるレベルで、就職活動の際にアピールできます。				TOEIC® L&R 730点	IELTS™ 6.0	TOEFL® iBT 80 PBT 550
リサーチ方法論A	リサーチ方法論B	プロジェクト演習		演習Ⅰ・Ⅱ		演習Ⅲ	演習Ⅳ	
				インターンシップ・アブロードⅠ・Ⅱ		卒業論文		

*留学先により異なりますが、現地での授業は15週間程度となります。

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
国際文化学科	大学での学びに向け、語学とその他の学びの基礎を身につける		さらに高度な外国語を学び、自分に合った科目群や科目を選択		より興味・関心に合わせた専攻科目やゼミで学ぶ		これまで取り組んできたテーマを卒論にまとめあげる	
	学科外国語科目		国際文化学科					
	リサーチセミナーⅠ	リサーチセミナーⅡ	リサーチセミナーⅢ		専門演習A	専門演習B	卒論演習A	卒論演習B
			国際文化 Study Project A～D					
			海外研修(北米、ヨーロッパ、東アジア、東南アジア、オセアニアなど)					
			科目群選択(以下の科目群5つから選択して履修)					
			比較宗教		仏教・キリスト教・イスラームなど世界の宗教文化の特色を理解し、共通点や相違点を比較分析する。宗教の観点から異文化理解と実践的交流をめざす。			
			地域研究		地域特有の文化や社会・経済、人々の生活を比較考察して、アジア・太平洋地域を中心とした相互理解をめざす。また、京都の地域文化を多角的に学ぶ。			
			人間と共生		人と自然、人と人の共生の現状と可能性をさぐる。グローバル化や都市化にともなう人の移動や住環境、自然や社会の変化を対象として、理論とフィールドの両面から探究する。			
			メディアと社会		グローバル化と情報化が進む現代社会におけるメディアの役割・意義・課題などを探究する。また、自ら情報を発信する際に必要となる技法や倫理を学ぶ。			
		芸術・表現		芸術をとらえて、文化を国際的な視点で学んでいく。美術、舞台芸術、文学、漫画などのアート表現を中心にそれらの理論と技法を多角的に研究する。				
国際ツーリズムプログラム 「観光客」「観光業」「観光地」など、国際的な観点から多面的に学びます。								
短期留学・長期留学(交換留学・私費留学・Ryukoku Intercultural Program)		卒業論文						

[取得可能な免許・資格]

- 中学校教諭一種免許状(英語)
- 高等学校教諭一種免許状(英語)
- 学芸員
- 本願寺派教師資格(受験資格)

[めざす職業・進路]

- グローバルスタディーズ学科
- 民間企業の国際部門
 - 国際機関職員
 - NPO/NGO団体職員
 - 翻訳・通訳者
 - 英語科教員(中学校、高等学校)
 - 海外大学院進学

国際文化学科

- NPO/NGO団体職員、公務員
- 企業(航空業、運輸業、貿易、観光業、商社、IT、石油関連)
- 英語科教員(中学校、高等学校)、学芸員、日本語教員、研究者
- マスメディア(テレビ、新聞、出版、広告)

Seminars

ゼミ紹介

グローバルスタディーズ学科 松村 省一ゼミ



外国語の学び方とコミュニケーションの関わり



英語が上達する鍵は、学ぶ人の自己のあり方に秘められている

檜 雄詞さん

グローバルスタディーズ学科 4年生
(大阪府立門真なみはや高等学校 出身)

授業をとおしてさまざまな定義や理論があるコミュニケーションに興味を覚えました。また、英語の学習・教育にも関心があったのでコミュニケーション領域や第二言語修得論の研究を専門的に行っている松村ゼミを選択しました。ゼミで学んでいくうちに、何気ない人とのやり取りや英語の勉強など、それまで自分が当たり前のように思っていた日常的な事柄でも、よく考えて分析すると深い意味があることに気がつきました。ゼミで身につけた知識を応用することで、解像度を上げて物事をとらえられるようになったと感じています。そして、自分の研究テーマもより明確になりました。英語を学ぶ人にとって、本人の心理と語学の習熟度はどのように関わっているのか。その観点をもつようになってから、英語を学ぶ人自身の自己存在がモチベーションの鍵になっているという説に惹かれ、卒業論文では「英語学習者の自己

とモチベーション」を主題として研究をすすめることを決めました。このように卒業研究にしっかり取り組めたのも、周囲のみんなに支えられてきたおかげです。ゼミでは、メンバーや先生とディスカッションを行います。自分の考えを補強してくれるアドバイスをもらうこともあれば、思いもよらなかった間違いを指摘されることもあります。また、自分のなかでは筋が通った意見でも、相手にはうまく伝わらない場合もあります。しかし、そういった失敗も含めて対話を重ねてきたからこそ、絶えず自分自身を更新しながら学び、本当の意味で成長できたと実感しています。自分に足りない部分は客観的に教えてくれて、良いところは伸ばしてくれる。そんな理想の学修環境が、松村ゼミであると思います。ゼミ活動で培った多角的な視点や実践的な知識、対話力を、今後の人生にも活かしていきたいです。

[その他のゼミテーマ]

- SDGsを実現するまちづくりへの三つの提言：SDGs未来都市：明石市の例をもとに
- ジェンダーフリーの限界と可能性
- Education and Child Poverty in Japan
- Why cannot nuclear weapons be eliminated from the world?
- How Starbucks Got Success in the Competitive Café Chain Industry
- 国際貿易が促す慢性的貧困と有効的な現代の貿易システム
- 途上国における負の遺産を活用したプロブアーツーリズム



国際文化学科 杉本 バウエンス・ジェシカゼミ



海外で享受される日本のマンガ文化



私たちの身近にある「マンガ」から社会の流れや歴史的背景を考察

佐藤 光里さん
国際文化学科 3年生
(秋田県立秋田南高等学校 出身)

「大衆文化」を専攻テーマに掲げる杉本ゼミは、映画や音楽、食べ物といった幅広い領域を扱っています。多彩な選択肢から私がテーマに選んだのは「マンガ文化」でした。身近な存在として社会に広く浸透しているマンガは、描かれた当時の社会情勢を色濃く映し出し、社会の流れや文化、歴史なども反映されています。そこを学ぶにあたり、私は海外のマンガ文化に目を向けました。私たち日本人が考える以上に、日本のマンガは海外で高く評価されています。世界中で受け入れられるようになった経緯を調べるうちに、日本文化のなかで普遍的な存在となっているマンガに新たな価値を見出せました。マンガのもつ魅力も再認識し、卒業論文では「日本の少女マンガにおける戦闘美少女に焦点を当てたジェンダー表象」を取り上げます。少女と戦闘は一見すると異質な組み合わせに思えるものの、日本のマンガ文化ではメジャーな組み合わせと

いえるでしょう。日本の戦闘美少女が海外でどのように享受されるようになったのかをキャラクターの特性から紐解き、世界の文化交流を踏まえた相互的な価値観をマンガ文化に踏襲していければと考えています。また、ゼミ活動の一環として、映像資料を介したグループ研究も行っています。ファッションやサイコスリラーなどのテーマをグループごとに設定し、複数の映像資料からそれぞれのグループが大衆文化に関するプレゼンテーションを実施するのです。グループ内での意見交換ではさまざまな解釈が飛び交い、構成を決めるだけでもかなりの時間を要しました。しかし、グループワークでの意見共有は、他者理解を深めるだけでなく、新たな価値観を提供してくれる場としても機能します。苦勞して完成させた瞬間の達成感は計り知れません。個人の研究では得られない協働力を実感する貴重な経験となりました。

[その他のゼミテーマ]

- 英語嫌いの生徒から考える楽しい英語の授業とはどのようなものか
- リノベーションまちづくりーもりねきプロジェクトのケーススタディー
- イスラム世界の芸術と花々ー楽園思想を踏まえてー
- ジブリ映画とアニミズム
- 日本のアニメーション産業におけるマーケティング戦略について
- 日本で働く外国人労働者が抱えるコミュニケーションにおける課題
- 神道、仏教から見た日本の性差別思想に関する考察

Life after Graduation



Graduate's Interview

株式会社 TASAKI

開発生産管理部 素材管理1課 勤務

Minori Kosaka

高坂 みのりさん

グローバルスタディーズ学科 2020年卒業
(兵庫県立姫路東高等学校 出身)

Q. 大学時代にはどのようなことに取り組んでいましたか？

ジェンダー論やSDGsといった世界の諸問題を広く学ぶなかで、多国籍企業論への関心が深まり、ゼミではラテンアメリカ諸国の地域別消費者行動や広告戦略を研究しました。ゼミ活動の一環として韓国を訪ねた際は、ユニクロや無印良品などの多国籍企業が国外でどのような企業活動を行っているかを調査し、グローバル企業の実態やあり方を体験的に理解しました。興味ある分野を追究した4年間で行動力や国際感覚が鍛えられたと、自分でも成長を感じます。

Q. 大学での学びは現在の仕事にどう活かされていますか？

留学経験や学科のレポート課題などをやり遂げてきた自信が、責任をもって業務を全うする姿勢につながっています。真珠の選別やジュエリーの検品など、企業の品質維持に日々努めており、3年目には海外長期出張を経験しました。さまざまな課題に直面しても自分のポテンシャルを信じる強い意志力は、学びのなかで育まれたものです。今後も意欲をもって業務や世界問題と向き合い、仕事を通じて国際社会と関わり続けたいです。

My Background



大学1・2年生

フィリピンへの短期留学をきっかけに語学学修の楽しさに気づき、帰国後はよりいっそう力を入れるようになりました。



大学3年生

留学先のパークレーから、講義で仲良くなった友人をたずねてはるばるロサンゼルスへ。旅先の思い出は今も忘れられません。



大学4年生

韓国でのフィールドワーク。多国籍企業のマーケティングは日本と他国でどのように違うのか、ゼミ生全員で現地調査しました。



現在

ゼミでお世話になった先生の「フィールドは世界」という印象的な言葉は、働くうえで私の大きな指針となっています。



Graduate's Interview

公益財団法人
日本バスケットボール
協会 勤務

Tomoki Miyata

宮田 知己さん
国際文化学科 2022年卒業
(大阪市立桜宮高等学校*出身)
*現・大阪府立桜宮高等学校

Q. 大学時代にはどのようなことに取り組んでいましたか？

当初から留学を視野に入れていたので、1年生時は英語に最も力を注ぎ、宗教の授業も履修しました。翌年アメリカ・ワシントン州のゴンザガ大学に留学し、バスケットボールのコーチングについて本場の技術を学びました。この1年は私にとって、異なる価値観をもつ人や集団とも関係を築く力が大きく培われた経験となりました。帰国後は本学の男子バスケットボール部のヘッドコーチに就任し、就任初年で全国大会出場を実現しました。

Q. 大学での学びは現在の仕事にどう活かされていますか？

指導のご依頼をいただいたり講演講師として登壇したりする機会もあり、選手のコーチングや戦術・データ分析など、在学中の経験や成果はそのまま今の仕事につながっています。学びを通じて獲得した視野の広さや関係構築力のおかげで、指導や講演を効果的なものに行っているとも日々感じています。いつの日か、日本代表チームのコーチとなって日本バスケットボールの発展に貢献するという最大の夢を実現したいです。

My Background



大学1年生

授業の後も自習室でリスニングに励み、休み時には留学生とも積極的に交流。翌年の留学に備えて英語力を鍛えていました。



大学2年生

ゴンザガ大学に留学。バスケットと英語が学べる最高の環境のもと、現地大学生との寮生活や米国内旅行など多くの経験をしました。



大学3・4年生

帰国後に本学男子バスケット部のヘッドコーチに就任。当時リーグ最下位だったチームを、約二十年ぶりの全国大会出場に導きました。



現在

人々や世界に良い影響を与えるのが「スポーツ」の魅力。コーチングという仕事をとおして、その発信に貢献していきたいです。

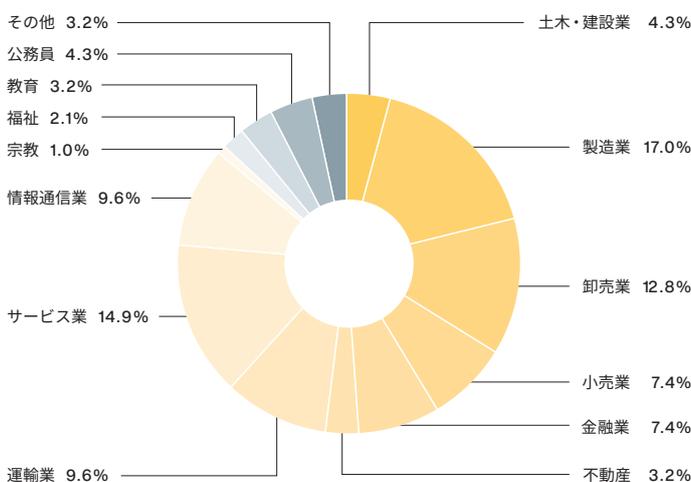
Careers

国際学部の就職

就職状況 (2021年度卒業生)

グローバルスタディーズ学科

グローバルに活躍できる進路をめざし、
教員が万全のサポートを行う



[主な就職先]

- セキスイハイム近畿株式会社
- ミサワホーム近畿株式会社
- クリナップ株式会社
- コベルコ建機株式会社
- THK株式会社
- 株式会社不二越
- 富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社
- 株式会社近鉄百貨店
- AIG損害保険株式会社
- 株式会社関西みらい銀行
- 第一生命保険株式会社
- 株式会社ニチレイロジグループ本社
- 明治安田生命保険相互会社
- 株式会社りそな銀行
- ECLエージェンシー株式会社
- 日本通運株式会社
- 株式会社日立物流
- 京阪ホテルズ&リゾート株式会社
- 東武トップツアーズ株式会社
- 株式会社USEN-NEXT HOLDINGS など

※主な就職先は業種順に記載



株式会社阪急阪神エクスプレス 内定

内定先は1年目から英語を活かせるフィールドがあります。大学の4年間で培った、英語の「話す」「聞く」「読む」「書く」スキルを存分に発揮できると考え志望しました。語学力はもとより、日本と海外企業における経営戦略の違いや地域格差について学んだ経験も活かし、国際物流のプロフェッショナルをめざします。

今西 俊輔さん

グローバルスタディーズ学科 4年生
(滋賀県立大津高等学校 出身)



豊通ケミプラス株式会社 内定

1年生時は英語で行われる授業を中心に選択し、2年生以降は英語で議論を行う講義などを受講して実践的な英語力と多角的な視野を養いました。「国内外で活躍したい」と常に目的意識をもって履修していた学修姿勢は企業面接でも評価され、今後はその実現のため内定先でもさらなる能力向上に励みます。

塚本 修平さん

グローバルスタディーズ学科 4年生
(静岡県立藤枝西高等学校 出身)



龍谷大学 国際学研究所 言語コミュニケーション専攻 進学

教職を志望していたものの、本学科で言語や倫理、国際情勢などを幅広く学ぶうちに研究意欲がわきました。ゼミの先生のもとで研究を続行し、より確かな英語力と専門知識を獲得して教壇に立ちたいと考えようになり、大学院への進学を決めました。卒業論文の内容をさらに掘り下げつつ、教員専修免許状も取得したいです。

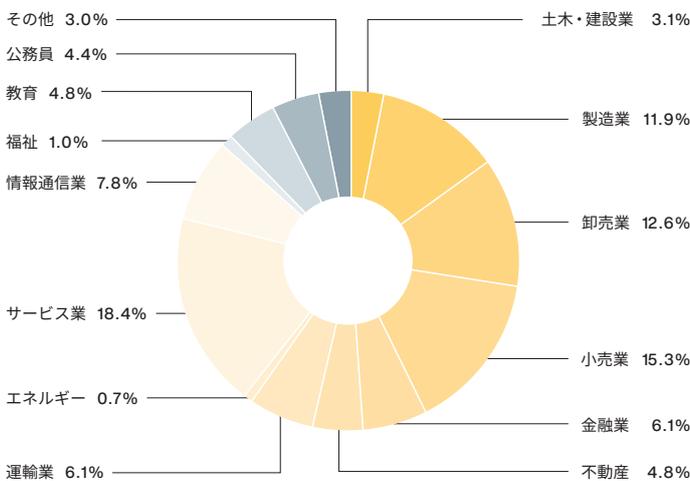
北島 花琳さん

グローバルスタディーズ学科 4年生
(京都府 京都廣学館高等学校 出身)



国際文化学科

「世界を学び、私を知る」国際文化学科の学びから
異なる文化間に生じる課題を解決できる人材となり、多彩な進路へ



[主な就職先]

- アイリスオーヤマ株式会社
- 株式会社イシダ
- 株式会社キーエンス
- サラヤ株式会社
- ダイハツ工業株式会社
- 株式会社村田製作所
- 株式会社ユーシン精機
- 株式会社TASAKI
- 株式会社京都銀行
- 住友生命保険相互会社
- 日本生命保険相互会社
- 野村證券株式会社
- 住友不動産株式会社
- 関西電力株式会社
- 株式会社テイクアンドグヴ・ニーズ
- トランスコスモス株式会社
- 大阪府教育委員会
- 東京消防庁
- 京都府庁
- 大阪市役所 など

※主な就職先は業種順に記載



大阪府教育委員会 中学校英語教諭 内定

同じ志をもつ仲間と切磋琢磨しながら、教員採用試験に向けた自主ゼミに積極的に参加し、TOEIC®も定期的に受験しました。そんな努力が実り、第一志望の大阪府教育委員会から内定をいただきました。多様性について理解を深める学びや教職課程をおおして得た人間力を発揮し、教師としてステップアップしていきたいです。

東畑 響さん

国際文化学科 4年生
(大阪府立芦間高等学校 出身)



近畿日本鉄道株式会社 内定

就職活動では、自分の熱意を伝えるよう心がけました。内定先の面接時でも、志望理由や幼少期から抱いていた鉄道関係者への憧れをつぶさに語り、胸の内を汲み取っていただけたと感じています。何より心強かったのは、在学中に旅行業務取扱管理者試験に合格した実績です。自信をもって本番に臨めました。

高窪 寛生さん

国際文化学科 4年生
(京都府 龍谷大学付属平安高等学校 出身)



株式会社三菱UFJ銀行 内定

就職活動の軸は「仕事をとおして誰かの人生に寄り添い、サポートしたい」でした。その背景には、海外語学研修をはじめとする、年齢や性別、国籍を超えてさまざまな方々と交流した経験が影響しています。これからも未知の分野に臆することなく、自分の仕事にプライドをもてる社会人になりたいと思います。

白川 弘美さん

国際文化学科 4年生
(大阪府立富田林高等学校 出身)

龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、
将来の予測が難しい時代となっています。
いま必要なことは、「学び」を深めること。
「つながり」に目覚めること。
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。
それが、私たちが大切にしている
「自省利他」であり、「まごころ」です。
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、
変革への一歩を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、
より良い社会を構築するために。
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

龍谷大学 国際学部

あらゆる「壁」や「違い」を乗り越えるために、「まごころ」を持ち、
「人間・社会・自然」について深く考える人を育む。
それが、龍谷大学の教育のあり方です。

自分自身を省み、人の痛みに感応して、
他者を受け容れ理解する力を持つ。
人類が直面するリアルな課題と真摯に向き合う。
そして様々な学びを通じて本質を見極める目を養い、
自らの可能性を広げていきます。

深草キャンパス

京都市伏見区深草塚本町 67
Tel 075-645-5645
world@ad.ryukoku.ac.jp

大阪、奈良、兵庫
から好アクセス

JR大阪駅 → 約42分
京阪京橋駅 → 約41分
近鉄奈良駅 → 約43分
JR三ノ宮駅 → 約63分



<https://www.world.ryukoku.ac.jp>

